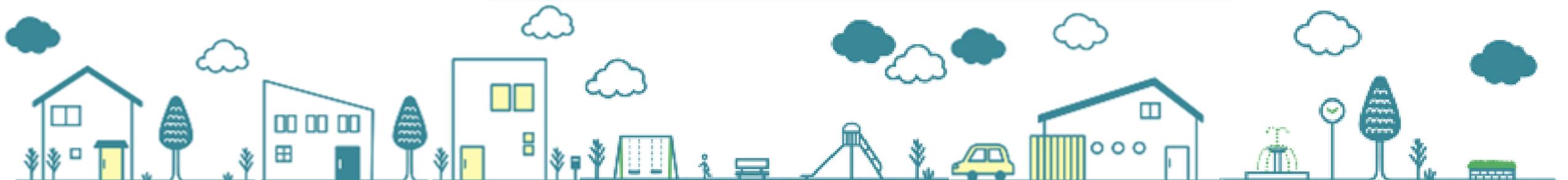
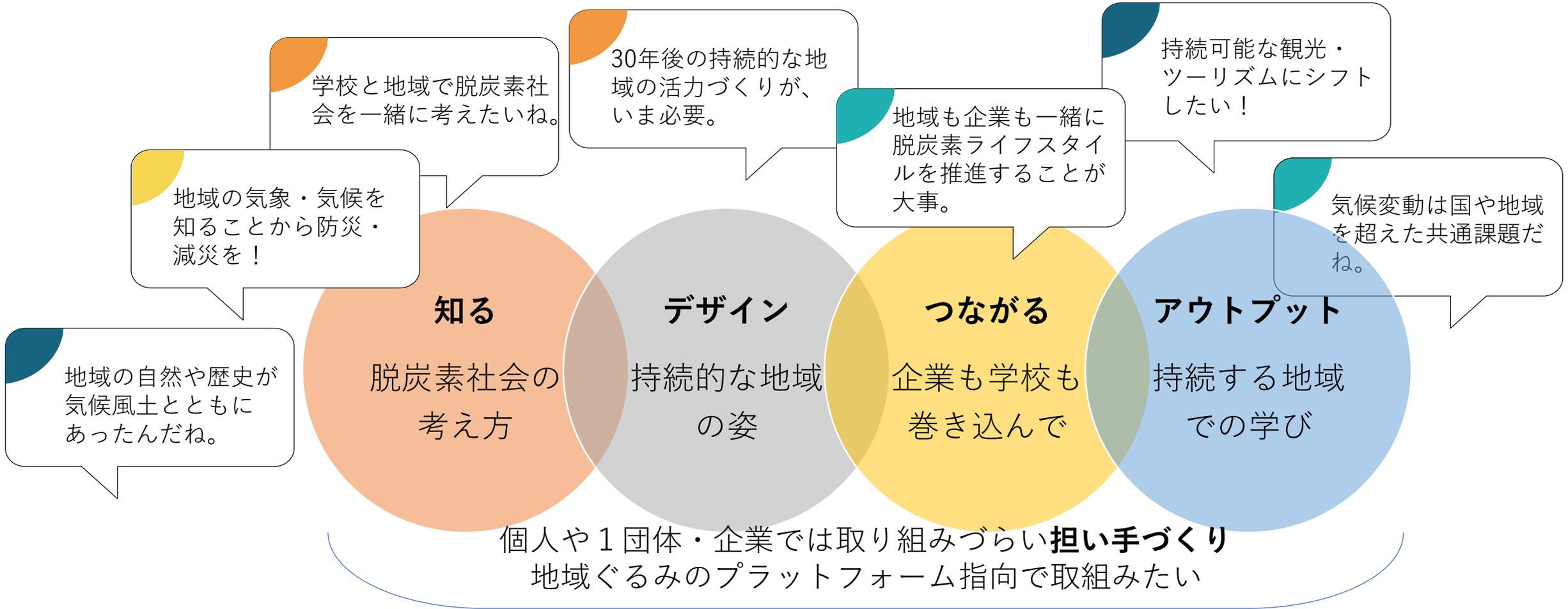


# 地域で求められる・役立つ「気候変動教育」



# 今求められる、「気候変動教育」

ESDはSDGsの達成の不可欠な実施手段である

SDGs達成に資する学習や人材養成施策を展開

持続可能社会の創り手の育成

社会との連携・協働による「社会に開かれた教育課程」



「気候変動教育」のあり方・方向性を見出すプラットフォームとしてESDネットワークを活用

## 新学習指導要領

何ができるようになるか

何を学ぶか

どのように学ぶか

### 長期目標：

- 脱炭素社会への移行を前向きに捉えて貢献する人材を増やしていくための学習・能力開発の機会が確立・定着していること。

### 中期目標：

- 学校教育、社会教育において「気候変動教育」に取り組む必要性・意義が認識され、実践者増や支援体制の構築が確認できること。
- 気候変動分野の拠点が増え、地域ESD推進拠点の機能・意義が学校や自治体から認知されていること。
- 「気候変動教育」が国・自治体・経済団体等の政策に何らかの形で位置づけられ、実践が広まりはじめていること。

学習指導要領解説（中学・高校）に脱炭素社会に関する教科との関わりづけを追記

# ESDネットワークのノウハウ

地域ESD活動推進拠点

158か所



学びあいの場づくりの実績

SDGs

消費者教育

地域学習

自然体験学習

ジェンダー

キャリア教育

気候変動教育

エネルギーシフト

ESD活動支援センター  
4つの機能

情報収集・発信  
ESD支援体制の整備  
ネットワーク形成と学びあい  
人材の育成

ESD活動支援センターの  
機能を活用した実績

- ・分野横断のネットワークづくり
- ・地域と全国との顔の見えるつながり
- ・各地の専門家とのネットワーク
- ・多様なテーマに取り組む地域ESD拠点
- ・SDGsのローカル化

ESD支援センター  
のパートナー

社会学習拠点

学校

企業

NPO

大学

# 「気候変動教育」で地域の学びがつながるしかけづくり

## 地域にとってのメリットは？→

- ・活動分野・セクターを越えて脱炭素に取り組める
- ・地域の未来を考えるきっかけになる
- ・ローカルSDGsの推進
- ・教育者以外の参画が期待できる
- ・ユースの参画、若者の地域への定着
- ・変化に対応することを全面に出した画期的な教育の実践
- ・社会へのアピール、社会からの評価につながる

